

調査名		孔番・深度		観察日							
		D1-2 (70 ~ 15)		3/20, 3/21							
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
05	10.58 10.66 10.95		Gp	2.5YR 7/3 10.5 橙	c	IV	D	δ	2		11.53 ~ 11.67 m 全体が粘土化(差)と酸化弱。セリ断面は分布(弱)。 11.67 ~ 11.95 m 10と40°割れ目が細く分布し、20~30mmの片状化 11.95 ~ 12.13 m 割れ目に1mm幅の軟弱な白色粘土脈が認められ、全体に酸化弱し 12.13 ~ 12.38 m 12.30°に62°割れ目が端留りあり。2.5以外は片状化で割れ目は消滅(20°)。 12.38 ~ 12.97 m: 破砕帯(D1) 崩層 12.38 ~ 12.86 m: HJ 上部60°、下部45°で、両者の連続的でシ-シ-に連続。 右組織は片状化弱。割れ目は殆ど消滅(1.5)と酸化弱(1.5)の軟弱な灰白~灰黄色(2.5Y 7/2)粘土脈の分布の硬質粘土。全体の色調は1.5の端(2.5YR 7/3)と弱。 厚さ400mm(27番)と、12.65mに支那の割れ目(支那2番)とセリ断面の分布あり。 12.86 ~ 12.87 m: Hc-1 (主セリ断面-12.86m) 上部・下部が45°で、連続的でシ-シ-に連続可。 1mm前後の石英粒と少量金砂(砂)と灰白~灰黄色(2.5Y 6/2)粘土で、厚さ5mm 12.87 ~ 12.91 m: Hb 上部45°、下部45°で、上部は連続的でシ-シ-に、下部は不明瞭に連続。 45~200mmの粘土化~酸化弱片状と、片状の粘土部(砂)と砂、1.5の黄褐色(10YR 7/3)の硬質粘土で、厚さ35mm 12.91 ~ 12.97 m: HJ 上部45°、下部45°で、両者は不明瞭に連続。 右に軟弱な酸化弱の片状と、45°幅0.5~1mmの軟弱な粘土脈を少量含む粘土岩片状と認められ、1.5の黄褐色(10YR 7/3)の厚さ400mm 12.97 ~ 15.24 m 上部は片状の割れ目が少く、1.5と1.5とあり。 割れ目は10°の酸化弱の片状と1.5の酸化弱の片状とあり。 粘土脈の分布は少ない。 割れ目は40~60°で全体とあり。 13.15 ~ 13.46 ~ 10~20の割れ目が多く、割れ目は1.5の酸化弱と酸化弱と片状化(一部は2.5の硬質とあり)。 13.73 ~ 13.77 (10)は、55~65の割れ目(2~10mm)の片状に平行に連続的シ-シ-に分布。粘土化10とあり。全体の酸化弱。 14.20 m. 50°幅1mmの石英脈が母岩に密着して連続可。 14.30 m. 45°割れ目を中心、幅5~10mmの緑色酸化弱粘土化などの酸化弱片状とあり。 14.87 m. 60°と、14.97 m. 62°はセリ断面の割れ目。前者は支那の割れ目とあり、後者は長石斑と切断(1.5)。
11	11.53 11.67 11.95		Gp	2.5YR 7/3 10.5 橙	c	VI	E	δ	3		12.38 ~ 12.97 m: 破砕帯(D1) 崩層 12.38 ~ 12.86 m: HJ 上部60°、下部45°で、両者の連続的でシ-シ-に連続。 右組織は片状化弱。割れ目は殆ど消滅(1.5)と酸化弱(1.5)の軟弱な灰白~灰黄色(2.5Y 7/2)粘土脈の分布の硬質粘土。全体の色調は1.5の端(2.5YR 7/3)と弱。 厚さ400mm(27番)と、12.65mに支那の割れ目(支那2番)とセリ断面の分布あり。 12.86 ~ 12.87 m: Hc-1 (主セリ断面-12.86m) 上部・下部が45°で、連続的でシ-シ-に連続可。 1mm前後の石英粒と少量金砂(砂)と灰白~灰黄色(2.5Y 6/2)粘土で、厚さ5mm 12.87 ~ 12.91 m: Hb 上部45°、下部45°で、上部は連続的でシ-シ-に、下部は不明瞭に連続。 45~200mmの粘土化~酸化弱片状と、片状の粘土部(砂)と砂、1.5の黄褐色(10YR 7/3)の硬質粘土で、厚さ35mm 12.91 ~ 12.97 m: HJ 上部45°、下部45°で、両者は不明瞭に連続。 右に軟弱な酸化弱の片状と、45°幅0.5~1mmの軟弱な粘土脈を少量含む粘土岩片状と認められ、1.5の黄褐色(10YR 7/3)の厚さ400mm 12.97 ~ 15.24 m 上部は片状の割れ目が少く、1.5と1.5とあり。 割れ目は10°の酸化弱の片状と1.5の酸化弱の片状とあり。 粘土脈の分布は少ない。 割れ目は40~60°で全体とあり。 13.15 ~ 13.46 ~ 10~20の割れ目が多く、割れ目は1.5の酸化弱と酸化弱と片状化(一部は2.5の硬質とあり)。 13.73 ~ 13.77 (10)は、55~65の割れ目(2~10mm)の片状に平行に連続的シ-シ-に分布。粘土化10とあり。全体の酸化弱。 14.20 m. 50°幅1mmの石英脈が母岩に密着して連続可。 14.30 m. 45°割れ目を中心、幅5~10mmの緑色酸化弱粘土化などの酸化弱片状とあり。 14.87 m. 60°と、14.97 m. 62°はセリ断面の割れ目。前者は支那の割れ目とあり、後者は長石斑と切断(1.5)。
12	12.13 12.38		Gp	2.5YR 7/3 10.5 橙	c	V	D	δ	2		12.38 ~ 12.97 m: 破砕帯(D1) 崩層 12.38 ~ 12.86 m: HJ 上部60°、下部45°で、両者の連続的でシ-シ-に連続。 右組織は片状化弱。割れ目は殆ど消滅(1.5)と酸化弱(1.5)の軟弱な灰白~灰黄色(2.5Y 7/2)粘土脈の分布の硬質粘土。全体の色調は1.5の端(2.5YR 7/3)と弱。 厚さ400mm(27番)と、12.65mに支那の割れ目(支那2番)とセリ断面の分布あり。 12.86 ~ 12.87 m: Hc-1 (主セリ断面-12.86m) 上部・下部が45°で、連続的でシ-シ-に連続可。 1mm前後の石英粒と少量金砂(砂)と灰白~灰黄色(2.5Y 6/2)粘土で、厚さ5mm 12.87 ~ 12.91 m: Hb 上部45°、下部45°で、上部は連続的でシ-シ-に、下部は不明瞭に連続。 45~200mmの粘土化~酸化弱片状と、片状の粘土部(砂)と砂、1.5の黄褐色(10YR 7/3)の硬質粘土で、厚さ35mm 12.91 ~ 12.97 m: HJ 上部45°、下部45°で、両者は不明瞭に連続。 右に軟弱な酸化弱の片状と、45°幅0.5~1mmの軟弱な粘土脈を少量含む粘土岩片状と認められ、1.5の黄褐色(10YR 7/3)の厚さ400mm 12.97 ~ 15.24 m 上部は片状の割れ目が少く、1.5と1.5とあり。 割れ目は10°の酸化弱の片状と1.5の酸化弱の片状とあり。 粘土脈の分布は少ない。 割れ目は40~60°で全体とあり。 13.15 ~ 13.46 ~ 10~20の割れ目が多く、割れ目は1.5の酸化弱と酸化弱と片状化(一部は2.5の硬質とあり)。 13.73 ~ 13.77 (10)は、55~65の割れ目(2~10mm)の片状に平行に連続的シ-シ-に分布。粘土化10とあり。全体の酸化弱。 14.20 m. 50°幅1mmの石英脈が母岩に密着して連続可。 14.30 m. 45°割れ目を中心、幅5~10mmの緑色酸化弱粘土化などの酸化弱片状とあり。 14.87 m. 60°と、14.97 m. 62°はセリ断面の割れ目。前者は支那の割れ目とあり、後者は長石斑と切断(1.5)。
13	12.97 12.97		Gp	2.5YR 7/3 10.5 橙	c	V	E	δ	3		12.97 ~ 15.24 m 上部は片状の割れ目が少く、1.5と1.5とあり。 割れ目は10°の酸化弱の片状と1.5の酸化弱の片状とあり。 粘土脈の分布は少ない。 割れ目は40~60°で全体とあり。 13.15 ~ 13.46 ~ 10~20の割れ目が多く、割れ目は1.5の酸化弱と酸化弱と片状化(一部は2.5の硬質とあり)。 13.73 ~ 13.77 (10)は、55~65の割れ目(2~10mm)の片状に平行に連続的シ-シ-に分布。粘土化10とあり。全体の酸化弱。 14.20 m. 50°幅1mmの石英脈が母岩に密着して連続可。 14.30 m. 45°割れ目を中心、幅5~10mmの緑色酸化弱粘土化などの酸化弱片状とあり。 14.87 m. 60°と、14.97 m. 62°はセリ断面の割れ目。前者は支那の割れ目とあり、後者は長石斑と切断(1.5)。
14			Gp	2.5YR 7/3 10.5 橙	c	IV	D	δ	2		12.97 ~ 15.24 m 上部は片状の割れ目が少く、1.5と1.5とあり。 割れ目は10°の酸化弱の片状と1.5の酸化弱の片状とあり。 粘土脈の分布は少ない。 割れ目は40~60°で全体とあり。 13.15 ~ 13.46 ~ 10~20の割れ目が多く、割れ目は1.5の酸化弱と酸化弱と片状化(一部は2.5の硬質とあり)。 13.73 ~ 13.77 (10)は、55~65の割れ目(2~10mm)の片状に平行に連続的シ-シ-に分布。粘土化10とあり。全体の酸化弱。 14.20 m. 50°幅1mmの石英脈が母岩に密着して連続可。 14.30 m. 45°割れ目を中心、幅5~10mmの緑色酸化弱粘土化などの酸化弱片状とあり。 14.87 m. 60°と、14.97 m. 62°はセリ断面の割れ目。前者は支那の割れ目とあり、後者は長石斑と切断(1.5)。
15			Gp	2.5YR 7/3 10.5 橙	c	IV	D	δ	2		12.97 ~ 15.24 m 上部は片状の割れ目が少く、1.5と1.5とあり。 割れ目は10°の酸化弱の片状と1.5の酸化弱の片状とあり。 粘土脈の分布は少ない。 割れ目は40~60°で全体とあり。 13.15 ~ 13.46 ~ 10~20の割れ目が多く、割れ目は1.5の酸化弱と酸化弱と片状化(一部は2.5の硬質とあり)。 13.73 ~ 13.77 (10)は、55~65の割れ目(2~10mm)の片状に平行に連続的シ-シ-に分布。粘土化10とあり。全体の酸化弱。 14.20 m. 50°幅1mmの石英脈が母岩に密着して連続可。 14.30 m. 45°割れ目を中心、幅5~10mmの緑色酸化弱粘土化などの酸化弱片状とあり。 14.87 m. 60°と、14.97 m. 62°はセリ断面の割れ目。前者は支那の割れ目とあり、後者は長石斑と切断(1.5)。

調査名		孔番・深度		観察日								
		15-2 (15~20)		3/21								
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
												・15.10m. 65°と15.28m. 55°のせん断性割れ目で、前者は 文部割れ目と判、後者は石英斑晶と判する。
	05											・15.47m 以下深では、割れ目には幅1~2mm程度の 砂状化が。
	16	15.24	Gp	2.5YR 7/3 10.5の橙					0	7		・16.12m. 60°割れ目には微小な金属斑晶が晶出 した。 ・16.24~17.66m この層全体に著しく軟化が現れ、Eと判す。17.46m以 下の層は粗粒結晶と判す。割れ目は矯縮した。 割れ目の一部は、2~3mmの石英と燧石を 含む。
	04											・16.54m. 50°のせん断性割れ目。文部割れ目と判す 割れ目は構造物に与り、100%程度 砂化に 砂化。
	17								0	5		・17.05~17.30m 10φ 50~100mmと硬く 石英斑晶が多い。石英は全に軟化して 判す。
	11	17.46										・17.46~17.66m 10φ 10~20mm前後の 砂化。割れ目 収縮が判す
	05	17.66										・17.66~19.78m 割れ目は少く、30~60°の割れ目 判す。割れ目の一部は 砂化が判す。
	18								12	12		・18.21m. 50°割れ目。割れ目には 1~2mm程度の砂化が判す。 石英。割れ目には微小な 金属斑晶が晶出した。
	05											・18.27m. 55°のせん断性割れ目。幅 2mmの軟化層が 判す。
	19								18	19		・18.97m. 50°割れ目には 2~3mmの石英と燧石を 含む。
	05											・19.30m. 62°割れ目には幅 5~10mmの砂化が判す。
	20	19.78 19.87										・19.78~19.87m: 62°帯 H6 (主断面 19.87m) 上部50%。下部50%の両者は 砂化に判す。100%程度 の石英と燧石を100%程度 の砂化に判す。Gp割れ目と 燧石を100%程度判す。燧石 層(10YR 8/4)は厚さ 10cm程度の砂化層が判す。

調査名		孔番・深度		観察日									
		D1-2 (20 ~ 25)		3/22 3/23									
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
20	20.56		Gp	2.5YR 7/3 10%橙	c	IV	D	δ	z	36	25	C <sub>L</sub>	19.87 ~ 20.56 m 60°割れ目10分厚に平行に分布し、一部に幅1~2mmの斜的 粘土脈は付着
	21	21.50			III	C	Y						36
22	22.10		Gp	2.5YR 7/3 10%橙	IV				3	11	11	C <sub>L</sub>	
	23	23.18			d	VI	E						
24	24.04		Gp	2.5YR 7/3 10%橙	c	II	C	Y	z	34	14	C <sub>M</sub>	23.68m、23.72m、50°の幅1mmの石英脈が母岩に 密着した分布。 23.88m、73°幅4~5mmの長石脈が母岩に密着した分布 24.04 ~ 25.22 m 直上よりP、角化、粘土脈、20~60°割れ目が互に 垂直化付着、割れ目の一部は斜断性付着。
	25	24.80 24.82			c	IV	D						



調査名		孔番・深度		D1-2 (25 ~ 30)		観察日		3/23				
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 RQD	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
25	25.22				C	7	D	Y	2		CL	25.22 ~ 26.04 m 一部の割れ目は、割れ目面に沿って軟化が認められ、粘土質の割れ目は少ない。 一部の割れ目は、幅0.5 ~ 1mmの白色・軟弱な粘土脈を伴っており、粘土脈の分布は少ない。
26	26.04		Gp	7.5R 7/3 2.5 橙	III	C			45	19	CM	26.04 ~ 26.67 m 55°の放射状割れ目と、交差する割れ目とが認められる（方位角は270°左向き）。幅1mmの白色・軟弱な粘土脈を伴っている。
27	27.04								25	13		26.67 ~ 27.30 m 互いに交差する40°と60°割れ目が互いに垂直に交差する。割れ目の多くは、割れ目の面は滑らかで、軟化が認められる（硬さC）。
28	28.42				IV				0	8		27.30 ~ 28.42 m 上下端60°の割れ目に幅0.5 ~ 1mmの軟弱な深黄色粘土脈が全体に粘り込む。
29	28.73								15	15	CM	28.42 ~ 28.73 m 上部65°、下部55°割れ目に囲まれて、5mm前後に細片化が認められる。下部は幅2mmの放射状粘土脈を伴っており、下部割れ目の割れ目は幅5mm前後で浸透した微細な鱗片状結晶が認められる。
30	29.71				C	III	C	Y	2			28.73 ~ 29.71 m 割れ目が少ない硬質。 40°と60°割れ目が互いに垂直に交差する。割れ目の面は滑らかで、粘土質の割れ目は少ない。粘土脈は粘土質の分布は少ない。方位角は270°左向き。
									60	24		29.71 ~ 30.00 m 29.71 m付近の55°と60°割れ目と互いに垂直に交差する。2mm前後の放射状粘土脈が認められる。



調査名		孔番・深度		観察日									
		D1-2 (30 ~ 35)		3/26									
標尺 (m) 30	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等		
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ					風化	変質
30	20		Gp	2.5YR 7/3 15.0% 粘	c	III	c	γ	2	32	18	CM	30.20 ~ 31.44 m
0.5		上位と同一の質で割れ目(硬さc)、割れ目は多量(IV)。互いに交差する30~60°割れ目あり。粘土部は分布せず。粘土部は少ない。割れ目の一部は砂状化している。											
31	31.44												30.68 ~ 30.75 m は上部・下部に幅60°幅2mmの軟弱な100μ黄褐色粘土層に割れ目に囲まれて、割れ目に幅1mmの軟弱な白色粘土層は2~3mm。
0.5	31.44 31.44 31.46												31.44 ~ 31.46 m は軟化(マニラ酸等)受けた粘土粘土層等分布せず。黄褐色の粘土層。
32			2.5YR 7/3 15.0% 粘	c	V-D	d	3	3	16	16	C	Hc1	31.44 ~ 31.46 m : 破砕帯 Hc1 (主断面・31.46 m)
0.5		上部・下部35°で、両者は直線的で2~3mm連続。9~10mm石英を含む軟弱な粘土で、灰白色~15%黄褐色(10YR 7/3)~灰赤色(2.5YR 7/2)を呈する。厚さ10~12mm											
33	33.00												31.46 ~ 33.00 m
0.5													割れ目は少ない。低密着割れ目の概ね10~30mm程度に分布する。その形状はVと評価される。低密着割れ目は30~60°主体で、割れ目も低密着割れ目には幅0.5~2mmの軟弱な白色~灰赤(2.5YR 7/2)粘土層に伴うものがある。
34													31.70 ~ 31.80 m は幅10mm程度・30°のマニラ酸等による粘土粘土部を分布する。
0.5													
35													

余白

H24-D1-4



# 第四系コア観察カード

調査名		孔番	D1-4	観察日	4/5		
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ 火山灰物 土質堆石 化石貝片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
0							埋込土
	0.32				礫 (埋込土)	2.5YR 3/1 黒褐色	<p>0~2.94m: 埋込土</p> <p>0~0.32m: 礫 15~30mmの黒毛片石を含む</p>
	0.5				礫混り 粗砂 (埋込土)	2.5YR 5/6 黒褐色	<p>0.32~2.94m: 礫混り粗砂 φ3~40mmのGr, Apの粗角~亜角礫を含む粗砂とシルトを含む</p> <p>φ3~10mmの礫石片を含む</p>
	1						埋込土
	0.5						
	2						
	0.5						
	2.94				礫 (改良土)	10YR 7/6 明黄褐色	<p>2.94~5.60m: 砂礫</p> <p>φ6~130mmのGr, Apの粗角~亜角礫の塊状物を含む。一部に半砕礫を含む。基質は中砂~粗砂に充填されている。礫含有率は40~50%である。φ1.5以下深さ20cmφ10mm前後の小礫が主体</p>
	0.5						改良土
	3						
	0.5						
	4						

スケッチ: 礫はクサリ● 半クサリ◐ 硬質○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
境界 明瞭—— 不明瞭---- 亀裂は赤線, 角度, 条線等

# 第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日		
		D1-4 (45°下)		5/15, 5/16		
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	マーカ-	地質名	色調	堆積構造・特徴等
			火山灰物 土壌化石 貝片			
4 5 0.5 0.5 6 0.5 7 0.5 0	0.5	4.97 4.99	104R 7/6 明瞭	礫 (改良土)	104R 7/6 明瞭	
	5	4.91	104R 5/4 不明瞭		104R 5/4 不明瞭	4.96 ~ 5.12 m 中 10 ~ 60 mm の 2次粒子を含有。
	0.5	5.60		礫混じり粗砂 (改良土)		5.60 ~ 7.40 m 礫混じり粗砂 上位層よりも礫量が減少している。 上位より1/2程度。 礫は5-10 mm 以下と小型の礫が主体で、一部 2次粒子。
	0.5					6.00 ~ 6.45 m: φ10 mm 前後主体に礫量が多い。礫 含有率50%程度で上下に比べ一様である。 礫はφ10 mm 以下の小型の礫が主体である。
	7					6.36 ~ 6.42 m 明瞭灰土(2.54R 7/1)の軽微な粘土を不規則に 7次粒子に含有。浅部から深部への連続性は低い。
	0.5					7.00 m 以下は礫はほぼ10 mm 以下で礫量が多くなる。
	0.5	7.62				7.40 m 以下は礫量が多い。2次粒子の粒度の粗砂の層構造
	0				Gp	7.62 m 礫層 基礎層の参照

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m) <sup>±</sup>	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				RQD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					
6													
7													
7.05	7.62		才四系										才四系コア観察カード参照 7.62mで着床 ↑
8			Gp	25YR 7/3 1.5mm程度	c	v	D	δ	2	0	6	C <sub>L</sub>	<p>φ2~8--石英と長石と珪石と輝石と花崗岩(Gp)</p> <p>7.62~9.26m</p> <p>岩盤結核と割れ目は珪石(c20), 珪石結核は卸れ部と粘土は粘土は粘土分布する。 割れ目は30~60°の全体で、一部は245°の斜交と 約60~90°割れ目も分布する。 風化に別、割れ目には数mm程度の砂状化と小割れ目 も分布する。</p> <p>8.78m、60°割れ目、8.91m、65°割れ目には、粘土と白色粘土 幅0.5mm程度の面状に付着している。</p> <p>9.17~9.20m、50°の滑り(0.5mm割れ目)にD/Cに 上り粘土付着(25YR 5/6明黄褐)0.5mm程度の粘土付着の 岩化は付着。</p> <p>9.26~9.38m:</p> <p>全体に風化と変質の軟化岩(付着)。</p> <p>このうち、区間の上端側9.26~9.32mと下端側 9.36~9.38mでは、φ5~10mmの緑灰色化 した岩片主体で、岩片間には幅1mm程度 の軟的な上端側には3mm幅、下端側は</p>
8.05													
9	9.00									0	7		
9.36	9.26			10YR 7/6 明黄褐									
9.36	9.32				d	v	E		3				
9.36	9.35												
9.36	9.45												
9.36	9.50			2.5YR 7/2 明黄褐	c	v	D	δ	2			C <sub>L</sub>	
10										0	3		

5/16



調査名		孔番・深度		D/4 (10 ~ 15)		観察日		5/20					
標尺	深度	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
(m)10	(m)												
	10.00		Gp	2.5YR 7/2 明褐色	c	v	D	δ	3				灰白色の粘土脈が分布し、粘土混り片状を呈す。中間中央部の9.32~9.34mでは、更に粘土化が進み、中3~10mmの緑灰色化した粘土混り片が多く含むと、下部45°幅30mmの礫質粘土である。
0.5	10.76											9.34~9.36mは、上部45°、下部50°で連続的に連続する幅5~75mmの軟弱な、いかに赤褐色を呈す粘土脈である。	
1.1	10.91 10.93				d	VI	E		0	3	D	Hc-2	9.38~10.76m 硬さの互体で、一部は風化層(赤褐色の硬さ)を含む。一部は粘結(10YR 8/1)の割れ目分布あり、土質は割れ目により強固了。 30~70°割れ目互体で、一部は20°傾角に致す10YR 8/1の割れ目分布あり、後者の割れ目前者の割れ目の割合が多い。
	11.22							3					10.80m以下では、前者の割れ目(30~70°)に幅1~2mmの軟弱な粘土脈(10YR 8/1)~淡黄色(2.5Y 7/2)の粘土混り片を多く含む。
0.5	11.65					v							10.76~10.88m 上部45°下部30°で、上部は連続的にシフトし、下部は粘土に連続する。20~30°割れ目の中11mmの軟弱な一部固結状の厚さ(2.5Y 7/2)の粘土混り片が、上部にはいかに赤褐色(2.5YR 7/2)を呈す。厚さ110mm。
1.2					c	IV	D	δ	2	4	Cc		10.88~10.91m 上部30°下部35°で、両者均連続的にシフトして連続する。5~10mmの風化粘土に粘土混りを含む礫質粘土である。従来のHbに比べ粘土量は少ない。最下部の幅5mmの風化を硬化(2Y)。コア、2mmと磁石により、1mmの黒褐色の鉄、全体の色調は、Hbに類(2.5YR 7/2)~黒褐色(10YR 3/1)である。厚さ20~30mm (主として10.93~)
1.3									0	9			10.91~10.93m: 破砕帯 Hc-2 (D-破砕帯) 上部30°下部30°で、両者均連続的にシフトして連続する。5~12mmの石灰質粘土に粘土混り片が3~5mmの割合で若干含む。軟弱な淡黄褐色(10YR 8/4)の粘土に、最下部は石灰質、割合を含む幅1~2mmの軟弱な石灰(10YR 7/1)粘土に連続する。全体の色調は、淡黄褐色(10YR 8/4)に厚さ15~18mm
0.5									0	4			10.93~11.22m 粘土混り片や粘土脈はほとんど分布しない。全体の均質化している。
1.4													11.22~11.65m 50~70°割れ目互体で、20°傾角に致す20~50°割れ目が分布する。粘土混り片はほとんど分布しない。割れ目には均質化している。
0.5													11.65~11.89m 上部は割れ目分布あり、均質化している。
1.5					c	IV	D	δ	2	9	Cc		

調査名		孔番・深度		D1-4 (15 ~ 20)		観察日		5/21 5/23					
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
05	15.27		Gp	2.5YR 7/2 明褐色	c	IV	D	δ	2		C <sub>2</sub>	<p>硬さDの薄片が主体で細かい割れ目の一部は、灰化と軟化は硬さEが分布(2)。</p> <p>15.27m以深では、割れ目は灰化と軟化が、割れ目周辺の軟化には認められる。</p> <p>軟化部は分布可、割れ目にはまだ軟化の分布も少ない。</p> <p>割れ目の一部は深さ20cm程度まで。</p>	
16									0	8		<p>12.60m、45°幅1~2mmの石英脈。境界部には割れ目化、割れ目を含む周辺10~20mm程度の領域には、黒色化が認められる。</p> <p>13.00~13.38m 灰化と軟化の境界部が多い。</p> <p>13.45~16.80m、45~10mmの軟化と白濁化した長石斑晶E多。含む。</p> <p>16.50m、55°割れ目幅1~10mmの膨脹した軟化的灰化と(2.5Y 7/2) 軟化が認められる。</p> <p>16.00~17.10m、複数の45~85°の深さ10cm程度の割れ目が分布する。一部は幅1mmの軟化的な灰化と粘土化は認められる。</p>	
05										b			<p>17.03m、45°幅2mmの石英脈が両者に密着して連続</p>
17													<p>17.32m、60°幅2mm 軟的~半固結性の明灰黄色(2.5Y 7/2)の粘土脈が分布。軟化と黒化は認められる。</p> <p>17.82m、40°幅1mmの石英脈が両者に密着して連続。</p>
18	17.89 17.93		Gr	2.5YR 7/4 灰褐色	d	VI	E	δ	0	7		D	<p>17.89 ~ 18.44 m : 灰褐色 (Gr)</p> <p>上部60°幅3~4mmの石英脈と4~5mmの深さの深褐色鉄物(鉄泥石?)が分布、平均30~40mmの石英、長石、φ1~3mmの黒雲母の各斑晶Eの黒雲母花崗岩が分布する。長石斑晶はφ10mm程度と大型化が認められる。全体が等粒状組織を呈する。</p> <p>下部 境界部Grに漸移(2)。</p> <p>上部境界部は軟化と黒化が認められる。灰化以外の軟化は認められる。また、割れ目も等粒状組織を呈する。灰化と軟化は認められる(2)。</p>
05	18.44		(移行)										<p>18.44 ~ 21.00 m</p> <p>30~50°割れ目が主体で、一部は45°、60~70°割れ目の種々~直交する。</p> <p>割れ目の一部に幅1~2mmの軟的石英粘土脈は認められる。灰化は認められる。</p>
19			Gp	2.5YR 7/3 灰褐色	c	IV	D	γ	2			C <sub>2</sub>	<p>19.08m、50°割れ目幅2~3mmの固結粘土脈は認められる。上部割れ目約50mm程度の深さまで。</p> <p>18.90~19.75mには幅1~5mm、30~50°両者に密着した石英脈が複数分布。脈周辺に軟化は認められる。</p>
05													
20													

調査名		孔番・深度		D1-4 (20 ~ 25)		観察日		5/20 5/23 5/24				
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 Rod	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
20.00	20.00		Gp	2.5YR 7/2 1.2の橙	< IV	C	γ	2	0	7	C2	20.00m 20°割れ目10mm 月化褐化の選り、砂状化石の 化石は伴わない。割れ目には2mm 磁鉄を黒褐色の砂。
21.00	21.00			2.5YR 7/2 明褐色					0	7		21.00 ~ 21.66 m 割れ目は4mm 10mm 一部で60°前後の低角度割れ目を含み、 打撃で分離し易い。 21.17 ~ 35° 21.47 ~ 50° の砂状幅 / mm の石英脈が 多数に分布して分布する。 21.50 ~ 60° はせん断性割れ目で、上記の21.47 ~ 50° 石英脈とほぼ 一致して分布する。 21.66 ~ 22.20 m 30 ~ 50° 割れ目が主体 割れ目には高、砂状化石、1mm 3mm の軟弱な石英脈 の石英脈が分布して分布する。後者の分布密度は低い。 22.36 ~ 22.40 φ 15 ~ 22 型の長石斑晶 2mm 以上 22.72 ~ 45° ~ 22.70m 60° は月化で砂状化石の選り 化石は伴わない。
22.00	22.00								36	18		22.36 ~ 22.40 φ 15 ~ 22 型の長石斑晶 2mm 以上
22.50	22.50								10	10		22.72 ~ 45° ~ 22.70m 60° は月化で砂状化石の選り 化石は伴わない。
23.00	23.00								10	10		23.27m 60° の砂状化石の割れ目 / mm 程度の軟弱粘板 付はり 23.40 ~ 23.87m 60 ~ 70° の低角度割れ目 60° 程度平行に 分布し、一部で石英、石英斑晶が割れ目、粘土質の幅 / mm 程度に分布する。
23.50	23.50								0	9	C2	23.40 ~ 23.87m 60 ~ 70° の低角度割れ目 60° 程度平行に 分布し、一部で石英、石英斑晶が割れ目、粘土質の幅 / mm 程度に分布する。
24.00	24.00								0	9		24.49m 60° 割れ目 10mm 程度 交互緑色化 (緑泥石化)、 φ 0.5mm 前後の雲母を伴う。
24.50	24.50								0	9		24.49m 60° 割れ目 10mm 程度 交互緑色化 (緑泥石化)、 φ 0.5mm 前後の雲母を伴う。



調査名		孔番・深度		D1-4 (25.00 ~ 30.00)		観察日		5/23, 5/24					
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
05	25.10											25.10 m, 45°割れ目径20mm 深緑灰色化(緑泥石化) L, φ0.5~1mm の塵母を伴う。	
26	25.40		Gp	7.5YR 7/2 明褐色	c	v	D	δ	2	0	9	Cc	25.40 m, 60° 傾 / 一の石炭脈が母岩に露呈して分布 25.61 m, 40°割れ目径 10mm 深緑灰色化(緑泥石化) L, φ0.5~1mm の塵母を伴う。
05	26.78											25.96 m, 50° ~ 26.22 m, 65° の割れ目径10mm あり、全体のRAC と粘り状の砂状土を伴う。	
27	26.78 ~ 27.75 m											D	26.78 ~ 27.75 m 割れ目径2mm 以下(傾角不明)の粘り状土塊を伴う。1~3cm 間の隙をこぼれ落ちる。 割れ目径2mm 以下の粘り状土塊を伴う。1~3cm 間の隙に砂状土が充填されている。 割れ目径2mm 以下の粘り状土塊を伴う。27.00 ~ 27.13 m には砂状土が充填されている。一部は粘り状土塊を伴う。 粘り状土塊と粘り状土塊は互いに混合している。
05	27.75 ~ 28.43 m											Hj	27.75 ~ 28.43 m 石炭破砕帯 27.75 ~ 27.91 m : Hb 上部20cm, 下部15cm, 上部は砂状土化不明瞭、下部は粘り状土塊を伴う。 φ2~3mm 石英粒、φ5~10mm の粗粒土と粘り状土塊を伴う。粘り状土塊は薄層状を呈する。上部は粘り状土塊を伴う。下部は粘り状土塊を伴う。粘り状土塊の厚さは160mm 程度。
28	27.91 ~ 28.33 m											Hj	27.91 ~ 28.33 m : Hj 上部15cm, 下部55cm, 両者は粘り状土塊を伴う。粘り状土塊は薄層状を呈する。 粘り状土塊の厚さは160mm 程度。
05	28.33 ~ 28.43 m											Hb	粘り状土塊の厚さは160mm 程度。
29	28.33 m											Hc-1	28.33 m ; Hc-1 (主な断面) 55° 傾角 2~5mm の粘り状土塊を伴う。粘り状土塊は薄層状を呈する。 粘り状土塊の厚さは160mm 程度。
05	28.33 ~ 28.43 m											Hb	28.33 ~ 28.43 m : Hb 上部約5cm, 下部約60cm, 両者は粘り状土塊を伴う。粘り状土塊は薄層状を呈する。 粘り状土塊の厚さは160mm 程度。
30	28.43 ~ 29.73 m											CL	28.43 ~ 29.73 m 粘り状土塊を伴う。粘り状土塊は薄層状を呈する。 粘り状土塊の厚さは160mm 程度。 粘り状土塊の厚さは160mm 程度。 粘り状土塊の厚さは160mm 程度。

調査名		孔番・深度		D1-4 (30.00 ~ 35.00)		観察日		5/23, 5/24				
標尺 (m) <sup>30</sup>	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
0.5	30.20		Gp	2.5YR 1/2 灰褐	b	III	B					29.73 ~ 30.20 m 硬質で、割れ目が多いため、13cm前後、連続しており、
	30.70				c	IV	C					
0.5	31.03		Gp	2.5YR 1/2 灰褐					12	12		31.03 ~ 32.30 m 60-80°割れ目、低密着割れ目が主体で、一部は、20°斜交 直交の60-80°割れ目、低密着割れ目も分布する。 割れ目には風化、海成砂化部分あり、粘土化はほとんど はない。
	31.53				c	V	C					
0.5	32.30		Gp	2.5YR 1/2 灰褐					0	7		32.13 m 60°幅5-8mmで1-3mm角塊状の 低密着割れ目分布する。基底は砂化して、20°斜交の割 れ目あり。
	32.80				c	IV	C					
0.5	33.30		Gp	2.5YR 1/2 灰褐	b	III	B	Y	2			33.10 ~ 33.65 m 硬質で変質部分あり、割れ目のほとんどは、高圧粘土化部分の 砂化はほとんどない。
	33.65											
0.5	34.00		Gp	2.5YR 1/2 灰褐						34	13	33.65 ~ 34.15 m 一部34.00 ~ 34.30 m 割れ目が多い形状V E あり、これ 以外は形状IV E あり。 硬質で34.64 m 以降はC 主体、以降はB と硬質である。
	34.22				c	IV	D	δ				
0.5	34.64		Gp	2.5YR 1/2 灰褐								34.00 m 60°幅1-5mmの石英脈が母岩に連続して分布する 以下盤化は34.22 m 付近にR 化で粘土化している。
	35.00				b	IV	B			0	9	



調査名		孔番・深度		観察日								
		D1-4 (35.00 ~ 40.00)		5/23, 5/24, 5/25								
標尺 (m) <sup>25</sup>	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	35.42		Gp	25YR 6/2 灰褐色	b	IV	B	γ	2		M	34.57~45.00 ~ 34.63m 65°は細い割れ目の発達し、全体が 軽微(2720) 粘土化の程度 若干の砂化あり。 また、200μm級架石を伴い、黒褐色化あり
	35											35.40 ~ 40.00m 間は 70°割れ目と垂直に 20~30cmに細片状の 高角の硬く(硬さB) 砂化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度
	36								0	9		35.90 ~ 36.00m 低角の割れ目の一部に 200μm級の 白色粘土を伴うもの。連続性が高く、粘土化の程度 粘土化の程度
	37											36.30 ~ 37.20m は 75~90°の高角の割れ目にて 20cm程度の 割れ目にて 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 36.37 ~ 45.00m は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 36.68 ~ 37.00m は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 36.69 ~ 37.00m は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 36.00 ~ 37.00m は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 200μm級架石を伴い、黒褐色化あり
	38			5YR 6/4 灰褐色								37.15 ~ 39.60m 上位に 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 37.68 ~ 38.95m 間は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 割れ目は 40~50°が主体で、粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 38.95 ~ 39.41m の硬さB (B) では、割れ目は 粘土化の程度 粘土化の程度 割れ目は 硬さC の 37.15 ~ 37.68m、39.41 ~ 39.60m 間は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度、割れ目は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度、硬さB の 37.68 ~ 38.95m 間は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度、粘土化の程度 粘土化の程度 硬さD の 38.95 ~ 39.41m 間は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度
	39											37.18 ~ 37.68m、200μm級架石を伴い、割れ目は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度、全体が 粘土化の程度 粘土化の程度 38.12 ~ 38.20m は 割れ目は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 38.95 ~ 39.41m は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度、上部25°、下部30° の割れ目は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度、60~65° 幅/ ~ 4mm 程度 粘土化の程度 粘土化の程度 39.41 ~ 39.60m は 硬さB を含んでおり、硬さC は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 39.50 ~ 20° 幅 200μm の石脈が 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 39.60 ~ 39.90m 硬さC 程度の割れ目は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度
	40											39.90 ~ 40.00m 硬さC 程度の割れ目は 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度 粘土化の程度

調査名		孔番・深度		D1-4 (40.00 ~ 45.00)		観察日		5/25				
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
40	40.00											39.90 ~ 40.68 m 40~50 割れ目のほぼ平行に分布する。 40~50 割れ目の一部は 5mm 程度の粒状の砂質の塊状物に包み込まれており、軟弱な塊状物と硬い塊状物とが互いに分布している。
0.5	40.68											20.24m, 40 ~ 20.24m 高割れ目に囲まれて、P <sub>2</sub> 粒状の砂と上部割れ目は 2mm の磁鉄鉱による鉄酸化が、全層に均等に分布している。
41	41.20		Gp		b	IV	B		10	10	CM	40.68 ~ 41.20 m 破砕 B と硬質の塊状物 41.20 m 以上 75 ~ 80 の高割れ目と塊状物 (破砕 B) の粒状部と接する。高割れ目は、41.00 ~ 41.53 m まで 5mm 程度の塊状物 (2nd, 1層 5 ~ 10 mm 程度の塊状物 3 ~ 5 mm 程度の塊状物) を含む (2nd)。 割れ目は 20 ~ 30° の状態で分布している。2nd 20 ~ 30° と 70° 前後の低密着割れ目も分布し、コア形状 IV 程度。 割れ目の充填物は少ない。
0.5	41.62											41.20 ~ 41.62 m 上部 75 ~ 80°、下部 80 ~ 85° の高割れ目に囲まれて、全体に平ら化している。 高割れ目と前後に 20 ~ 40 割れ目の主体で、割れ目の一部は海成物化が、粒状部と塊状物はほとんど分布せず。高割れ目の一部に 1層 9.5mm の厚い軟弱な塊状物が付着している。
42	42.37											41.62 ~ 42.37 m 破砕 B と硬質で、割れ目のやや少ない。 80 ~ 50 割れ目の主体。2nd 40 ~ 50° と 80 前後の低密着割れ目が多い。 割れ目、低密着割れ目は均等に酸化、粒状部は塊状物はない。2nd 42.03 m 程度の塊状物 (2nd) の一部が 3 ~ 5 mm 程度の塊状物 (2nd)。 41.92 m, 40° 幅 5 ~ 6mm 石英脈の断面に密着して連続。脈の両側に 1.0 ~ 1.5mm の金属鉄粉の付着。
0.5	42.61											42.37 ~ 42.61 m 低密着割れ目のほぼ均等に分布し、2nd 20 前後の低密着 (1層)。 42.37 ~ 42.46 m は、割れ目の約 10mm 前後の塊状物。2nd 20 前後に平ら化している。岩片間に軟弱な塊状物の付着している。
43	43.34											42.61 ~ 43.34 m 30 ~ 50 割れ目の主体で、ほぼ平行に分布する。 硬質で、割れ目は海成物化が、粒状部は塊状物はない。一部は 2mm の磁鉄鉱による鉄酸化が、断面に付着している。 43.39 m - 55° 幅 3 ~ 4 mm 石英脈の断面に密着して連続する。
0.5	43.54											43.34 ~ (45.00 m) 岩片の間は硬質 B の多い。低密着割れ目のほとんどは均等に分布し、全体に平ら化している。
44	44.00											42.43 ~ 42.61 m 60 割れ目はほとんど付着割れ目で、初上は条線状の塊状物
0.5	44.61											42.61 ~ 43.34 m 30 ~ 50 割れ目の主体で、ほぼ平行に分布する。 硬質で、割れ目は海成物化が、粒状部は塊状物はない。一部は 2mm の磁鉄鉱による鉄酸化が、断面に付着している。 43.39 m - 55° 幅 3 ~ 4 mm 石英脈の断面に密着して連続する。
45	45.00											43.34 ~ (45.00 m) 岩片の間は硬質 B の多い。低密着割れ目のほとんどは均等に分布し、全体に平ら化している。



調査名		孔番・深度		観察日													
		D/4 (45.00 ~ 50.00)		5/26 (祝日), 5/29													
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等					
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質	ROD			
45	45.45		Gp	5YR b/4 100%褐	c	IV	c	γ		0	5	<p>割れ目は50~70°、これに斜交して交差する30~60°の全体で割れ目の一部は薄く砂化している。幅1~2mmの軟弱な所が数箇所見られる。</p> <p>43.74m、50割れ目幅2~3cmで砂化し、一部は1mmの雲母片が剥き出し。これは200μm以下で黒褐色化する。本割れ目1cm下位の43.35mには本割れ目と平行に幅3~5mmの石英脈が連続する。</p> <p>44.67m、65割れ目は垂直割れ目に交差する60°割れ目EとしてP→波打つきを連続する(変位量5mm程度)。</p> <p>44.83m、60割れ目の一部に幅1~2mmの軟弱な粘土が粘着状態に連続している。</p> <p>45.00 ~ 45.45m 60~70°割れ目、低密度割れ目が主体で、これに斜交して交差する40~60°割れ目、低密度割れ目も分布する。一部の割れ目でごく薄く砂化している。粘着状態に若干ある。高割れ目の200μm以下で黒褐色化する。</p> <p>45.24m、45割れ目と100μmと膨脹して連続する20°、両者に平行して割れ目の一部は割れ目化し、下層化は低密度である。</p> <p>45.45 ~ 46.06m 60~80°のこれに斜交して交差する40~60°割れ目、低密度割れ目の分布は4割程度で低密度割れ目の多くは10~30mmの間隔で分布している。隙間が狭くBの割れ目、割れ目の間隔は均等に分布しない。</p> <p>45.80m、45割れ目は垂直割れ目に交差する60°割れ目EとしてP→波打つき(変位量4mm程度)。</p> <p>46.06 ~ 46.31m 上層の割れ目と2Bの塊状(四)。互いに交差する50°程度の割れ目が見られ、割れ目の間隔は均等である。</p> <p>46.31 ~ 46.67m 40~50°割れ目、低密度割れ目の約10mmの間隔で均等に分布し、一部は薄く砂化している。高層の2Bも含まれて全体に分布する。</p> <p>46.67 ~ 47.48m 2Bと2Cの間に、割れ目も若干ある。46.45~47.00mは60°の低密度割れ目が分布する。割れ目、低密度割れ目も粘着状態にある。</p> <p>47.48 ~ 47.67m 高層の2Bと隙間で約0.60~85°の低密度割れ目が分布し、粘着状態にある。</p> <p>47.67 ~ 48.52m 40~50°割れ目は均等に分布する。48.17m粘着状態に割れ目と平行に砂化している。低層は代表的な割れ目化(粘着)状態、粘着状態に若干ある。</p> <p>48.17m、50°割れ目の幅5~7mmの間隔で均等に分布し、割れ目の一部は5~10mmの間隔で粘着状態(緑泥石化)している。200μmの軟弱な所が雲母で剥き出し。</p> <p>48.52 ~ 48.84m 上層の同層、40~50°割れ目が均等に分布し、低密度割れ目は40~50°で60~70°の分布は若干あり、粘着状態に若干ある。</p>					
	46	46.06			b	III	b	β	γ	2	33		12				
47	47.22				5YR 7/2 100%褐	c	V	c	δ		34		10				
	47.48					b	III	b	β	γ	2		0	9			
48	47.67					5YR 7/2 100%褐	c	V	c	δ			0	9			
	48.17						c	V	c	δ	3		0	8			
49	48.52						5YR 7/2 100%褐	c	V	c	δ		3	0	8		
	48.84							b	IV	b	β		γ	2	0	8	
50	49.03							5YR 7/2 100%褐	b	IV	b		β	γ	2	0	8
	49.29								b	IV	b		β	γ	2	0	8





調査名		孔番・深度		観察日		基盤岩コア観察カード									
		D1-4 (55.00 ~ 60.00)		5/30 5/31 (4日)		記事・破砕性状・詳細スケッチ等									
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分			
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				ROD		
55	55.41		Gp	25YR 7/2 明褐色 (R <sub>2</sub> )		D	δ	3		0	4	C <sub>L</sub>	53.44 ~ 53.46 m: Hc-2 上部45° 下部45°で、上部はP波帯で、下部は連続的では ない。φ1mm石英粒とφ3mm前後の粘土化(Gp)が主成分 を含む軟弱な凝灰岩(25YR 7/2)の粘土(25YR 7/2)粘土、厚2~4mmの軟弱な 2 52.46 ~ 53.68 m 軟化(粘土化)。 53.55m、55°、53.67m、70°の割れ目に幅1mm、 2~4mmの軟弱な線状圧痕(25YR 7/2)粘土が認められる。		
05		25YR 6/2 灰褐色												53.68 ~ 56.54 m ①中央部の54.44~54.64と54.80~55.41に割れ目D <sub>1</sub> とD <sub>2</sub> の上下へ 深さ2cm、20~30°の傾斜を呈し、D <sub>1</sub> とD <sub>2</sub> の間で 割れ目は30~40°と40~50°の傾斜を呈し、60~80°割れ目と 低角度割れ目も分布する。 54.61m以下では割れ目が12~24°傾斜を呈し、 一部90°割れ目に幅1mm程度の軟弱な線状圧痕と白色粘 土の付着が認められる。粘土化は2~3割れ目程度。	
56	56.18														54.44m、70°傾斜、3~8mmの軟弱な分布、上部側 境界は割れ目化で、下部は田舎に軟弱な粘土、54.44m と650cm断面に50°割れ目に認められる(変位量3mm程度)
05	56.57														54.44m、650cm断面に割れ目C <sub>1</sub> とC <sub>2</sub> の方向に軟弱な 割れ目(変位量3mm程度)
57										12	12				54.44 ~ 54.64mは割れ目C <sub>1</sub> とC <sub>2</sub> の軟弱な 軟弱化で、 54.44m、650cm断面に割れ目D <sub>1</sub> とD <sub>2</sub> の軟弱な 割れ目(変位量3mm程度)
11															54.44 ~ 54.64mは割れ目C <sub>1</sub> とC <sub>2</sub> の軟弱な 軟弱化で、 54.44m、650cm断面に割れ目D <sub>1</sub> とD <sub>2</sub> の軟弱な 割れ目(変位量3mm程度)
05	57.63														55.41m、650cm断面に割れ目D <sub>1</sub> とD <sub>2</sub> の軟弱な 割れ目(変位量3mm程度)
58	58.37														56.18m、50°~56.23m、50°の割れ目に傾斜を呈し、 一部90°割れ目も認められる。
05	58.75														56.54 ~ 56.57 m 上部60°、下部60°で、上部は滑り傾斜延長で90°~70°で 大きく、下部は75°の傾斜を呈し、2割れ目も認められる。 φ1mm前後の石英粒とφ5~10mmの粘土化は主成分と 含む軟弱な凝灰岩の線状圧痕と全体の色調は圧白(25YR 7/2) ~ 明褐色(25YR 7/2)で粘土は付着している。 厚さ10~15mmで、粘土化は割れ目の56.52m付近で 粘土化は2~3割れ目程度。
59	58.96														56.97 ~ 59.63 m 深さBで堅硬である。 50~60°と40~50°の傾斜を呈し、50~60°割れ目も認められる。 割れ目の傾斜、粘土化は粘土化の付着。 一部は割れ目同様の低角度割れ目も分布する。
05	59.37												57.63 ~ 59.63 m 50~60°割れ目、低角度割れ目60°5~10mmの傾斜で 平均分布し、粘土化は付着する。		
60	59.71												59.75 ~ 58.37 m 深さBで堅硬である。 割れ目は0°~10°の傾斜を呈し、58.00~58.15mを中心に 50~50°の低角度割れ目が多い。57.粘土の主成分は 粘土、59.90~59.71mは50~90°割れ目も認められる。割れ目上の 変位の一部はφ3~5mmに軟弱化で、 58.37 ~ 58.35 m 深さBで堅硬である。20~30°割れ目と80~90°割れ目 の交互に、変位の一部は低角度軟弱化でφ5mm前後に軟弱 化で、粘土は付着する。		

調査名			孔番・深度	01-4 (60.00 ~ 65.00)		観察日	5/1、6/3						
標尺 (m) b	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				RQD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
				割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化						変質
	60.06		Gp	7.5YR 1/2 灰褐色	c	V	C	Y				58.85 ~ 58.96 m	
	60.24				d	VI	E		3				58.96 ~ 59.47 m
	60.38												59.47 ~ 59.58 m
61	60.74				d	VI	E			0	4		59.58 ~ 60.06 m
	60.96				c	V	C	Y	3				60.06 ~ 60.16 m
	61.39												60.16 ~ 60.38 m
	61.47				d	VI	E			4			60.38 ~ 60.46 m
	61.52												60.46 ~ 60.58 m
	61.74												60.58 ~ 60.74 m
62	62.07												60.74 ~ 60.85 m
	62.42												60.85 ~ 60.96 m
	62.49												60.96 ~ 61.17 m
63	62.61												61.17 ~ 61.39 m
	62.67												61.39 ~ 61.47 m
	62.74										61.47 ~ 61.52 m		
	63.27										61.52 ~ 61.74 m		
	63.67										61.74 ~ 62.07 m		
	63.77										62.07 ~ 62.17 m		
64	63.83										62.17 ~ 62.27 m		
	63.88										62.27 ~ 62.37 m		
	63.90										62.37 ~ 62.49 m		
	64.37										62.49 ~ 62.61 m		
	64.57										62.61 ~ 62.74 m		
65	64.97										62.74 ~ 62.85 m		
	65.27										62.85 ~ 63.07 m		
	65.37										63.07 ~ 63.27 m		



標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
65	65.00				b	IV	B					<h2 style="text-align: center;">基盤岩コア観察カード</h2> <p style="text-align: center;">記事・破砕性状・詳細スケッチ等</p> <p>φ1~2mm 石英粒、φ2~10mm の大半は粘土化して印割れは多く含み軟弱な緑色を帯びた圧泥(2.5Y 5/1)の礫層に粘土で厚さ 50mm</p> <p>61.52m: Hc-1 (主断面)</p> <p>45° 幅 1mm の軟弱な暗緑色(2.5GY 4/1)粘土で連続的にシアーに連続する。</p> <p>61.52 ~ 62.42m</p> <p>20~60° の斜めに交互に 50~60° 割れ目と 40° の割れ目、20~30° の斜めに連続的にシアーに連続する。割れ目間の粘土化は 1mm 幅 1mm 厚の軟弱な暗緑色~白色の粘土で、粘厚な圧泥に 2mm ほど多い。</p> <p>62.38m: 30° の斜めに交互に 60° 割れ目と 40° の斜めに交互に 7mm ほど。</p> <p>62.42 ~ 62.49m</p> <p>上部 20° 下部 20° の割れ目に 40° の斜めに 5mm 前後の交互の粘土化層を呈出する。</p> <p>62.49 ~ 62.74m</p> <p>変質が著しく粘土化が 0° 割れ目の一部に残留する。割れ目は 10~40° の斜めで、幅 0.5~1mm の暗緑色(2.5GY 4/1)・灰色(2.5YR 6/2)に 2mm。</p> <p>62.67m: 40° 幅 0.5mm 程度の軟弱な粘土に 2mm ほど、下部 40° 幅 3~12mm に 5mm 前後の白色粘土と 20mm 程度の白色粘厚な圧泥。</p> <p>62.74 ~ 63.29m</p> <p>割れ目は 40° 前後の斜めに、60° 前後に 40° 前後の割れ目、低角度割れ目も残留する。粘厚な圧泥は 2mm ほど、粘厚な圧泥に 1mm 程度の粘土化層を呈出する。</p> <p>63.29 ~ 63.67m</p> <p>上部 40° 下部 40° の斜めに 5mm 前後の交互の粘土化層を呈出する。63.38m 30°、63.49m 55° の 25° 斜めに 10mm 前後の交互の 1mm 幅 1mm 厚の軟弱な暗緑色粘土層が 1mm 程度に分布する。</p> <p>63.49m: 55° の斜めに交互に 40° の斜めに 1~2mm の軟弱な白色粘土層を 20mm 程度(変質層)に 2mm。</p> <p>63.67 ~ 63.90m: 3度 2度 1度</p> <p>63.67 ~ 63.83m: HJ</p> <p>上部 45° 下部 40° の斜めに 1mm 程度に連続する。φ5~20mm の大半は粘土化して印割れは多く含み軟弱な暗緑色を帯びた圧泥に 2mm 程度の軟弱な白色粘土層が 1mm 程度に分布する。63.52m に 45° 幅 2~3mm の軟弱な暗緑色(2.5YR 6/2)の連続的にシアーに連続する。</p> <p>全体の大半は粘厚な圧泥に 2mm ほど、暗緑色を帯びた圧泥(2.5Y 5/1)に 厚さ 150mm (27cm)。</p> <p>63.83 ~ 63.88m: Hb</p> <p>上部 40° 下部 30° の斜めに 1mm 程度に連続する。下部は連続的にシアーに連続する。φ5~10mm の軟弱な粘土、一部 2mm の斜めに 2mm 程度の暗緑色粘土で、断面中に 1mm 程度の軟弱な粘土層が分布する。全体の軟弱な暗緑色(2.5Y 5/1)~灰色(2.5YR 6/2)に 厚さ 20~30mm。</p> <p>63.88 ~ 63.90m: Hc-1 (主断面: 63.88m)</p> <p>70° 幅 5~10mm の連続的にシアーに連続する軟弱な暗緑色(2.5YR 6/1)の粘土。断面中、1mm 程度の石英粒を含む。</p>
65	65.00			2.5YR 6/2 灰褐色	c	V	C	Y	2			
66	66.00				c	V	C	Y	2			
66	66.50				c	V	C	Y	2			
66	66.57				c	V	C	Y	2			
66	66.65				c	V	C	Y	2			
66	66.60				c	V	C	Y	2			
66	66.59				c	V	C	Y	2			
66	66.65				c	V	C	Y	2			
67	67.05			2.5YR 6/2 明褐色	d	VI	E	Y	3			
67	67.05				c	V	C	Y	2			
67	67.51				c	V	D					
67	67.82				c	V	D					
67	67.98				c	VI	E					
68	68.18				c	V	D					
68	68.33				c	V	C					
68	68.33				c	V	C					
68	68.33				c	V	C					
68	68.33				c	V	C					
69	69.05				c	V	C					
69	69.22			2.5YR 6/2 灰褐色	c	V	C					
69	69.43				c	V	D					
69	69.43				c	V	C					
69	69.45				c	V	C					
69	69.45				c	V	C					
70	70.00			2.5YR 6/2 明褐色	c	V	C	Y				

調査名		孔番・深度		観察日								
		D-4 (63.9 ~ 70.0)		6/4 記事の外								
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等 (記事の外)
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
												・63.90 ~ 64.05 m 深20のφ5~20mm Gr 高片と、粘土化で著しく粒化して基 底の砂 64.05mで70°の斜角で20°に割れ目と接する。 ・64.05 ~ 64.57 m 一部に硬土 B と泥と硬土 C の高片を伴。 互いに交差する 20°前後の割れ目、低密度割れ目の主体は脆部 の一部でφ: 10~20mm の高片に細片化して20°。 割れ目の傾角は高片に平行して20°。 ・64.57 ~ 65.06 m 2度 B と硬土 C に 10~30° 割れ目主体、同角の低密度割れ目も 分布する。 64.83m、60°割れ目に固結した幅1mmの緑黄色(不鮮色)粘 土脈を伴する。 ・65.06 ~ 66.65 m 30~60°と45°に斜交した20°~40°割れ目の主体で、割れ目 は通常約20°で20°に平行して20°に20°に平行して20°に 交互に、傾角部は斜交部で20°に平行して20°に、割れ目には φ5mm 前後の細片化が伴う。 ・65.07 ~ 65.21 m、65.21 ~ 60°の高割れ目 φ5mm ~ 20mm、5 mm の緑黄色化(φ5mm以下の微小な高片の残物(変質 産物)の少量分布(20°)。 ・66.65 ~ 67.05 m 主に交互で著しく粒化して20°。 上部は60割れ目で20°に平行して20°に接する、下部は斜交部 である。 φ5~20mmの硬土の主体は一部粒化して高片と粘土化して 著しく砂質で角状構造部で著しく砂質で20°に1~2mmの 軟弱な粘土と粘土脈を分布する。 ・67.05 ~ 67.88 m 割れ目は一部が斜交部、一部は60~70°主体に残留する。同角の 低密度割れ目も多く分布。 割れ目の一部は幅1~3mmの軟弱な砂色~暗緑黄色の粘 土と粘土脈を分布する。 ・67.88 ~ 68.00 m、65°の軟弱な割れ目で、交互に60~70°の低密度 割れ目多数を伴する(交互斜交部)。 ・67.88 ~ 67.98 m 上部65°下部55°の割れ目で固結し、交互に代わって著しく 粒化して20°。土と泥の分布(20°)。 ・67.98 ~ 70.00 m 深20主体で、一部は硬土 C の分布。 割れ目一部は砂化して細片化(φ5mm前後) 全体に粘土化は殆どない。69.00m以下は、幅1mm 以下の粘弱な砂色粘土と粘土脈を少量分布する。 ・割れ目、低密度割れ目は50~70°の斜交部。 ・1121は幅1~3mmの軟弱な暗緑黄色粘土と60°に平行して20°。 ・69.52m、70°、69.75m、70°は同じく軟弱な割れ目で、交互に斜交 の割れ目と20°。(交互斜交部)

以上

余白

H27-B-3



# 第四系コア観察カード

調査名		孔番	観察日			
		H27 B-3	H27 7/			
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	マーカ- 火山灰物 炭質土 貝化石 木片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
0						
0.35	0.35		0.00 0.05 0.10 0.15 0.20 0.25 0.30 0.35		10YR 3/1 黒褐	0~1.70m:埋産土 掘削にともなう、地下埋設物等との 手摺の試験を行う。その埋産土。
0.75	0.75			埋産土	10YR 6/4 灰褐 10YR 7/2 灰黄褐	0~0.35m 砂石 0.35~1.70m 波浪砕砂~礫質砂
1.00	1.00					
0.5	0.5					
1.70	1.70					
2	2					
0.5	0.5			蓋土	10YR 6/4 灰褐	1.70~10.05m:蓋土 構造物基礎の蓋土部 小粒径、波浪砕砂粗砂~粗砂~砂礫砂 1.70~5.27m:砂
3	3					
0.5	0.5					
3.61~3.67 m. 炭質土 粒多						2.4~2.8m間の水平に明らかな割れ目 収縮割れ目
4	4					3.20m以下は粗粒砂が主体となる。 3.61~3.67m 20cmの範囲で黒色化して石英粒が 滲集している。

61c層

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等



# 第四系コア観察カード

調査名		孔番	観察日			
		427 B-3	H27 7/17			
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	マーカ 火山灰物 土壌化石 木片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
0	0.01	0.01	○ r /// θ □			
0.5	0.37	0.37	2.01~2.19 2.21~2.29	土	MR 4 R/M 斜角	0.01~0.37 m: 27
9	9.21	9.21	2.21 2.29	土	2.59 5/1 斜角	0.37~10.05 27 10.05~10.03 27
0.5	9.66	9.66	2.29 2.37	土	10R 4 R/M 斜角	9.66~9.66 腐食した鉄片を含む (一部は9.66細骨材を含む)
1.0	10.05	10.05	2.37 2.45	土		9.66~10.03 付近 27 (赤)
0.5	10.5	10.5	2.45 2.53	土		↓ 基礎部コア観察の参考
0.5	11.0	11.0	2.53 2.61	土		
1.2	12.2	12.2	2.61 2.69	土		

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等



調査名		孔番・深度		観察日							
		H27 B-3 (10.05 ~ 15)		H27 7/26/17							
標尺 10 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等 (著) 「和利岩味カード」参照
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				
	10.05										<p>11~3% 石英、長石を斑晶とする花崗斑岩 (Gp). 長石は白濁化が少なく。</p> <p>10.05 ~ 12.96 m: C<sub>L</sub></p> <p>・硬さ「C」部で 上部10mの 10.05 ~ 11.20 m と中部の 11.82 ~ 12.00 m は同様に硬さ「C」部。</p> <p>・硬さ「C」部の一部に割れ目状の物を含む部分あり。多くは同様に折角変質部と併せて採る。</p> <p>・長石は多くの白濁化を示す。</p> <p>・10.70 ~ 10.80 m は硬さ「C」の硬質部が残留する。</p> <p>・11.20 ~ 11.82 m 硬さ「C」部で 塊状の砂子あり。一部は容易度の低い割れ目を含む。</p> <p>・11.40 ~ 11.55 m 割れ目の交差し、折角化が顕著な部分がある。</p> <p>・11.82 ~ 12.00 m 上部は硬さ「C」部。下部の 11.97 ~ 12.00 m は硬さ「C」部と併せて採る。</p> <p>・12.00 ~ 12.96 m 硬さ「C」部で 割れ目の厚さ1%程度と薄く折角化が少なく。折れ目も軽度には折角化が認められ、その一部は黒濁化が認められる。</p> <p>12.96 ~ 14.62 m: D<sub>1</sub> C<sub>L</sub></p> <p>上部と下部は同様に硬さ「C」部。中部は硬さ「C」部の中石の1%程度あり。</p> <p>下部は硬さ「E」部で 硬質部と割れ目の残留(2%)が全体の硬さの約1%程度を示す。折角化の粘土と約5%前後の折角化は約1%程度の割合に含む。</p> <p>・13.64 ~ 14.30 m は硬さ「C」部で 硬さ「D」部の容易度の低い割れ目と同様に硬さ「C」部と併せて採る。</p> <p>・14.22 m 45° 傾きの軟質英褐色粘土と硬さ「D」部(5%)と併せて採る。約1%の石英と約2%の石英(石英7%、石英2%)。</p> <p>・14.30 ~ 14.62 m は上部17% 傾きの軟質赤褐色粘土。下部は割れ目と同様に硬さ「C」部と併せて採る。硬質部と割れ目は約1%程度に残留(2%)。約2% 傾きの軟質赤褐色粘土と併せて採る。</p> <p>14.62 ~ 20.05 m: C<sub>L</sub></p> <p>20~40割れ目部で、割れ目の厚さ約1%程度と粘土(2%)部を含む。</p>
	05			✓	✓	δ	2				
	11							10	4	C <sub>L</sub>	
	05										
	12										
	05		Gp	3.5R 7/2 明褐色							
	13										
	05										
	14										
	05										
	15										



調査名		孔番・深度		観察日								
		H27 B-3 (15 ~ 20)		H27 7/27								
標尺 15 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	0.5	15.32			✓	✓	D	δ	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・上端側の16.49m以下は硬2c主体、16.49m以下は硬2c主体である。</li> <li>・15.33~15.43m、風化の顕著な粗粒変質の付帯した軟化部(1)。上端の50cm程度の割れ目あり。</li> <li>・15.73~15.80m、60cm程度の割れ目あり、20cm程度の付帯。</li> </ul>
		15.43			✓	✓	E	ε	3			
	16			2.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	D	δ	2	✓10	✓10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16.21m、50cm程度の幅5~15%の固結した白色部(1)の付帯あり。</li> <li>・16.49m、35cm程度の下部は硬2c主体、一部は最底層の硬い割れ目を含む。</li> <li>・16.76~16.87m、10~20%の粗粒付帯(1)あり、岩質は付帯1~2%程度の砂状化。</li> </ul>
	0.5	16.49			×	×	×					
	17		Gp		✓	✓	D	δ	2	✓0	✓7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17.13~17.31m、割れ目の一部は幅1~2%の粗粒部(1)の付帯あり。</li> <li>・17.90~18.00m、最底層の硬い風化割れ目(1)を含む。11.2~17.90mの硬2cに硬割れ目の一部は付帯、細粒化部。硬割れ目(1)の開口(2)の付帯あり。</li> <li>・18.05~18.27m、割れ目の変質(1)一部は20~30%の粗粒化部(1)の付帯あり。</li> <li>・18.05~18.27m、硬化変質(1)の付帯量多(1)の付帯あり。</li> <li>・18.43~20.09m、一部の割れ目の付帯(1)の付帯あり、20cm程度の粗粒付帯(1)の付帯あり、岩化は付帯あり。</li> </ul>
	0.5	17.13			✓	✓	D	δ	2			
		17.31			✓	✓	E	ε	3			
		17.31			✓	✓	D	δ	2			
	0.5	17.50			✓	✓	D	δ	2			
	18			2.5YR 7/3 100% 橙	×	×	×			✓0	✓8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18.05~18.27m、割れ目の変質(1)一部は20~30%の粗粒化部(1)の付帯あり。</li> <li>・18.05~18.27m、硬化変質(1)の付帯量多(1)の付帯あり。</li> <li>・18.43~20.09m、一部の割れ目の付帯(1)の付帯あり、20cm程度の粗粒付帯(1)の付帯あり、岩化は付帯あり。</li> </ul>
	0.5	18.04			×	×	×					
		18.43			✓	✓	D	δ	2			
	19			2.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	D	δ	2	✓0	✓5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18.90m、50cm程度の幅1~5%の黄褐色の付帯あり。</li> </ul>
	0.5				✓	✓	D	δ	2			
	20				✓	✓	D	δ	2	✓0	✓9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18.59m、40~80cm程度の付帯(1)あり、80cm程度の付帯(1)の付帯あり。</li> <li>・80cm程度の付帯(1)の付帯あり、18.55mの幅10%の砂状化部(1)の付帯あり、下部は付帯(1)の付帯あり、硬割れ目の付帯(1)の付帯あり、硬割れ目の付帯(1)の付帯あり。</li> </ul>

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

調査名

孔番・深度

H27 B-3 ( 20 ~ 25 )

観察日

H27  
7/27. 8/3

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 20 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					
05	20.04		Gp	25YR 7/2 明褐色	✓	✓	δ	2	✓	✓	C1	20.04 ~ 20.93 m : C1 一部は粘着質。他は割れ目と含石、粘片は堅硬、 長石の一部は角閃岩が、未変質の粘片が多少、 割れ目状の物は地中に分布する。	
	20.15			25YR 7/3 暗褐色	✓	✓	δ	2	✓	✓	C1		
05	20.93		Gp	25YR 7/2 明褐色	✓	✓	δ	2	✓	✓	C2	20.93 ~ 26.70 m : C2 45°前後の割れ目主体、一部は70~90°の高角度割れ目と 交差。 割れ目に沿って粘片が分布、粘片の分布は粘片の 一部が含む。 粘片の幅1~2% 粘質白色粘片が分布。 上端部の22.69 m 粘片は硬く、22.69 ~ 23.71 m は 硬く、23.71 m 以下は硬く、粘片、硬く、 粘片の分布は割れ目の傾向に分布するものが多い。 21.55 ~ 21.65 m 粘片の分布は硬く、粘片の分布は 粘片の分布。 21.70 ~ 22.40 m 高角度割れ目主体、厚さ1%以下と粘 片の分布、粘片の幅1~2% 粘質白色粘片が分布。 22.03 ~ 22.63 m、70~90°の粘片の分布、粘片の 幅5~10% 粘片、粘片の幅1~2% 粘質粘片が分布。 22.10 ~ 22.45 m、一部は硬く、粘片が分布。 22.60 ~ 22.64 m、上端60°幅2~3% 粘片、下端45° 幅1% 粘片の分布、粘片の幅1%、一部は粘片の 白色粘片が分布している。 22.91 ~ 23.49 m、70°前後の割れ目と同傾向に分布、粘片 の分布、粘片の幅60~80°の割れ目と粘片の分布。 23.45 ~ 23.71 m、粘片の幅1~3% 粘質白色粘片が分布、粘片 の分布。 23.71 ~ 24.53 m は粘片（硬く）主体。 23.71 ~ 23.95 m、80~90°の高角度割れ目は粘片の分布。 24.06 ~ 24.22 m は粘片（硬く）主体。 24.37 m、粘片の幅2% 粘片。 24.53 ~ 26.70 m は粘片（硬く）主体。 上端粘片の割れ目も粘片の分布、粘片の分布。 24.60 ~ 24.72 m、80~90°の粘片の幅1~5% の粘片の 粘片の分布。	
	21	21.27				25YR 7/2 明褐色	✓	✓	δ	2	✓		✓
05	22.69		Gp	25YR 7/2 明褐色	✓	✓	δ	2	✓	✓	C2	22	
	23	23.71				25YR 7/2 明褐色	✓	✓	δ	2	✓		✓
05	24.53		Gp	25YR 7/2 明褐色	✓	✓	δ	2	✓	✓	C2	24	
	25				25YR 7/2 明褐色	✓	✓	δ	2	✓	✓		C2







調査名

孔番・深度

H27 B-3 (30 ~ 35)

観察日

H27 7/28 7/29, 8/7

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 30 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
05	30.02		Gp	2.5YR 7/2 明褐色	IV	γ	3				C2	30.55 地層の割れ目と孔の風化が部分的にある。密着度の低い部分、中層割れ目が多い。 30.55~29.60m 30.30~30.56m 割れ目とコアの一部が軽微な圧縮を受けている。
	30.45											
31	30.56		Gp	2.5YR 7/2 明褐色							C4	30.56~32.21m: C4 堅硬 割れ目状の地層の一部に圧縮が分布している。割れ目とコアの一部は軽微な圧縮を受けている。風化は伴っていない。 31.40は密着度の低い割れ目の中層割れ目10cmほど分布している。
	31.05											
32	32.21		Gp	2.5YR 7/2 明褐色							CM	31.62~31.66m 上下端の如く割れ目は固形に風化している。上下端には幅2cm、0.5%の軟質褐色粘土が認められる。 32.11m, 40割れ目は厚さ15~20cmの緑泥石化した、色調が緑褐色化している。中2.5%以下の微細な圧縮を受けている。風化が粘土化している。
	32.05											
33	33.09		Gp	2.5YR 7/2 明褐色							C2	32.21~33.09m: CM 一部に粘土物と硬石の如く割れ目の主体。密着度の低い割れ目と含有。一部は開口化している。 33.30~33.53m 割れ目とコアの一部が圧縮を受けている。風化は伴っていない。 32.53m, 450厚2%軟質褐色粘土。初上盤には粘土は15%程度割れ目に分布する。
	33.05											
34	34.20		Gp	2.5YR 7/2 明褐色							CM	33.09~34.20m: C2 60-70%の高度割れ目が多い。一部は分岐~収束に降り向き、この割れ目は圧縮の軟質下幅1~2cmの軟質圧縮粘土と粘土に付着している。粘土は部分的に風化が認められる。 33.0m 以下は硬石とC2の割れ目含有が認められる。
	34.05											
35	34.20		Gp	2.5YR 7/2 明褐色							CM	34.20m, 40割れ目は厚さ2~3cm、加齢した圧縮粘土が認められる。 34.20~33.94m: CM 粘土の割れ目に粘土物は分布している。コアの一部は含有。軽微な圧縮を受けている。風化は伴っていない。 密着度の低い割れ目の中層割れ目が多い。白濁化の傾向がある。

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 35 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	0.5			2.5YR 6/2 灰褐色	✓ b	✓ IV	✓ C	Y	2			CM
	35.94				X				X	✓ 10	✓ 10	
	36			2.5YR 6/2 灰褐色	✓ b	✓ IV	✓ C	B	β	2		CH
	36.80									✓ 4.3	✓ 1.9	
	37		Gp									
	37.30				X				X			CM
	0.5			2.5YR 6/2 灰褐色	✓ b	✓ IV	✓ C	Y	2			CM
	37.55				✓ b	✓ IV	✓ C	δ	2			CL
	37.69				✓ b	✓ IV	✓ C	ε	3			DV
	37.81				X					✓ 1.6	✓ 1.6	
	38							Y	2			CL
	38.21				✓ c	✓ IV	✓ C		δ	3		
	0.5				X							
	38.40				✓ b	✓ IV	✓ B	Y	2			CM
	39									✓ 1.0	✓ 1.0	
	39.74				X			V	X			
	0.5				✓ c	✓ IV	✓ C	Y	2			CL
	40									✓ 1.0	✓ 1.0	

35.31m 60°割れ目厚さ約2%の交代。

35.47m 50°割れ目7%割れ目6割れ目(変位量不明)。

35.94 ~ 37.30m: CH  
 硬質、割れ目性状の分布(なし)。  
 36.07 ~ 36.32m 割れ目2%の一部分で2%の交代に  
 交代した。交代は伴った。2%の交代の  
 区間内に数本分布する。

37.03m 50°割れ目2%の一部分で2%の交代に  
 交代した。この50°割れ目は支那の割れ目と  
 一致する(変位量不明)。

37.30 ~ 37.55m: CM  
 変位量不明。若干の交代。

37.55 ~ 37.69m: CL  
 上下端は2%の交代に交代した。交代は  
 37.69 ~ 37.81m: D  
 30~60°割れ目2%の交代に交代した。厚さ  
 1%以下の硬質性状。

37.81 ~ 38.50m: CL  
 38.21m以下は50°割れ目の交代に交代した。交代は  
 交代した。交代は2%の交代に交代した。  
 厚さ2%。

38.50 ~ 39.14m: CM  
 一部分の割れ目を含む。変位量は、  
 変位量は約1%の交代に交代した。

39.14 ~ 40.79m: CL  
 変位量の低い割れ目を含む。変位量は、  
 変位量は約1%の交代に交代した。  
 割れ目は約1%の交代に交代した。









調査名

孔番・深度 H-7 B-3 ( 50 ~ 55 )

観察日

H27  
7/28, 7/29 ①/①

### 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 50 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	05	52.56			✓	✓	✓	δ	3			
	51	52.76	7.5YR 7/2 明褐色		✓	✓	✓	δ	3	0	4	C <sub>2</sub> ✓
	05				✓	✓	✓	δ	3			
	52	52.00	Gp		✓	✓	✓	δ	3	0	4	
		52.32			✓	✓	✓	δ	3			
	05				✓	✓	✓	γ	2			
		52.75			✓	✓	✓	δ	3			
	53	53.10			✓	✓	✓	δ	3	0	6	
	05		7.5YR 7/3 淡褐色		✓	✓	✓	δ	3			
		53.85			✓	✓	✓	δ	3	0	6	C <sub>2</sub>
	54	54.31			✓	✓	✓	δ	3			
	05				✓	✓	✓	δ	3			
	55				✓	✓	✓	δ	3	0	5	

50.00 ~ 50.42 m 30°前後の微細な片状割れ目と粗粒流紋岩コアを連続する。この割れ目はH27-1の流紋岩合流したものがある。

50.46 ~ 51.16 m は硬さの不均一で、30~50割れ目が多割れ目気味厚さ1~3cmと薄く、動脈部は不均一に多い。岩片自身の上下には不均一な軽化している。

51.16 ~ 52.00 m は硬さの不均一で、51.35 ~ 51.49 m 間には割れ目・文脈・交差部と不均一に動脈部が分布している。軽化程度も不均一である。

52.00 ~ 52.32 m  
10~20% 硬さの不均一と岩片間の粗粒動脈部がある。

52.32 ~ 52.75 m  
表面の白濁化の不均一な硬さの不均一で、一部で硬さの不均一も含まれる。一部には高濃度の鉄の割れ目も含まれる。

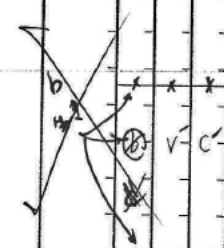
52.75 ~ 53.10 m  
岩片自身の硬さの不均一と軽化の不均一。一部で硬さの不均一が観察される。

53.10 ~ 53.82 m  
高濃度の鉄の割れ目が多い。一部で不均一な軽化(不均一)がある。割れ目の一部は均一化し、高濃度の鉄の不均一が多い。色調も不均一な帯状の不均一がある。

53.40 ~ 53.60 m 間は硬さの不均一に近く、粗粒の鉄の不均一に不均一な分布がある。

53.85 ~ 54.31 m 間は割れ目軽化が少ない。

54.35 ~ 54.59 m 割れ目不均一な岩片の一部の軽化と不均一な軽化の不均一。高濃度の鉄がある。



7/28/29  
部下



